

【出席率】 会員58名中38名

【先々週の出席率】 93.75%

【先週のメイクアップ】

6/16 三条北RCへ 荒澤威彦君 船久保孝志君
飯山勝義君 丸山徹夫君 三野輪明人君
永桶俊一君 野島廣一郎君 大久保秀男君
佐々木常行君 田中悌司君 若井 博君
渡邊久晃君

6/19 地区ロータリー財団委員会へ
馬場一敏君 野崎正明君 田代徳太郎君

6/20 地区表彰審議委員会(三条)へ
菫澤喜一郎君

6/21 巻RC創立20周年記念式典へ
吉井正孝君 長谷川晴生君 平松修之君
星野健司君 菫澤喜一郎君 野中 悟君
佐藤嘉男君

6/21 バーミンガム国際大会へ
馬場信彦君 飯山勝義君 丸山征夫君
三野輪明人君 西巻克郎君 坂井範夫君



国際ロータリー会長 李 東 建 [韓 国]
第2560地区ガバナー 馬 場 信 彦 [三 条 南]
第4分区AG 古 井 辰 禱 [吉 田]
会 長 吉 井 正 孝
幹 事 鈴 木 罔 彦
S A A 野 中 悟

事務局
〒955-8666 三条市旭町2-5-10
三条信用金庫本店内

☎0256-35-3477 Fax 0256-32-7095

E-maile info@sanjo-minami.jp

URL <http://www.sanjo-minami.jp>



会長挨拶

吉井 正孝 会長



こんにちは。私の年度、この例会場でのご挨拶は、今日で最後となりました。本当に一年間、有難うございました。

そんな昨日の日曜日、年度最後の周年行事がありました。巻 RC の「20周年記念」という事で、当クラブから7名で出席して参りました。会場は角田山の麓で、日帰り温泉「じょんのび館」や「地ビール園」近くの巻農村環境改善センター「ほたるの館」という公共施設で巻 RC 例会場が「会場」でした。

巻 RC は、現在の会員数 19 名。旧 巻町・岩室村・西川町・瀧東村の 2 町 2 村が区域。設立当初は 38 名が在籍。一時は会員数 40 名を超えたものの、その後は年々減少・・・。

とうとう 20 名を割ってしまったとの事。それでもこの日は、奥様方の応援を得て、全員張り切って対応されておりました。おそらく一人で何役もこなしながら、この日の為、頑張ってこられた事と思います。会場の都合か、呼びかけの範囲も「第 4 分区」が中心・・・。「式典」「記念講演」「懇親会」と、どれをとっても派手さは無いものの、手作りの「あったかさ」が感じられた周年事業でした。「区域は広いものの、特にこれと言った産業も無く、会員の募集も難しい。町の協力で会場費は「無料」とは言え、例会場が若干不便な場所にある為、なかなか出席率も上がらず、慢性的な会員不足に陥っています。」懇親会の席上、巻の会員の方が語っておられました。「それでもこの 20 年間、続けてこられた社会奉仕活動は立派な内容じゃありませんか・・・！」と、私は率直に「賛辞」を述べました。

一流ホテルを会場に、上場企業の面々がきら星の如く居並ぶ「都市型」の RC があるかと思えば、先日やはり周年記念で参加した「阿賀 RC」や、ここ巻 RC のように会員数 20 名にも満たない地方の「小さなクラブ」が

一流ホテルを会場に、上場企業の面々がきら星の如く居並ぶ「都市型」の RC があるかと思えば、先日やはり周年記念で参加した「阿賀 RC」や、ここ巻 RC のように会員数 20 名にも満たない地方の「小さなクラブ」が

一流ホテルを会場に、上場企業の面々がきら星の如く居並ぶ「都市型」の RC があるかと思えば、先日やはり周年記念で参加した「阿賀 RC」や、ここ巻 RC のように会員数 20 名にも満たない地方の「小さなクラブ」が

会員の減少に悩みながらも、「職業奉仕」や「社会奉仕」に燃え、地域の発展を願って活動する熱心な会員がおられたのも事実でした。この一年間、会長の特権で、様々なクラブを訪問させて頂いた私の率直な感想です。

さて、初めに申し上げましたように次回の例会、馬場ガバナーご夫妻、蕪澤地区幹事の慰労も兼ねて開催する「会長・幹事慰労会」で、私の年度は終わります。

同時に次年、佐藤年度に引き継ぐ為の「決算」の作業が待っております。昨年の坂本年度から私年度の半分は、当クラブ会員だけでなく、市内各 RC のご協力を頂く大事業が目白押しでした。世の中の経済環境同様、厳しい財政状態の元で引き継いだ今年・・・。

外での馬場ガバナーの活躍を横目で見ながら、鈴木幹事・長橋事務局員と一緒に自分の「財布」を握り締めていた今年度でした。皆様からご協力を頂きながら、新入会員の募集も思うに任せなかった一年でした。そんな中、これまで慣例化していた団体への寄付も、見直しや「取り止め」・・・。毎例会時ご面倒をお掛けしている「松木屋さん」にもご無理をお願いする事も多々ありました。こんな財政的しわ寄せが、結果的に今年度「社会奉仕事業」への出費を犠牲にした感は否めない事実です。

佐藤年度はこの点を理解され、次年度事業計画に「社会奉仕活動」はじめ「CLP」に則った組織の見直しも積極的に進められると聞いております。それらを支援する為にも、財政面若干でも「黒字」で、次年度に財布をお渡ししたいもの・・・と、考えています。一年間のご支援・ご協力に改めて厚く感謝申し上げ、この例会場最後のご挨拶と致します。



幹事報告

鈴木 圀彦 幹事

- 村上岩船ロータリークラブより 例会開催日変更のお知らせ
2009年7月より 毎週火曜日 → 毎週 月曜日
- 馬場ガバナー事務所より 7月のロータリーレートについて
現行どおり 1ドル 98円

BOXボックス

～・ 6月22日 13,000円 今年度累計 991,894円 ・～

- 吉井君 昨日は、私年度最後の周年記念式典「巻RC20周年」でした。ご参加いただいた6名の皆様、ご苦労さまでした。今年度も6/29の慰労会を残すのみ・・・。ご協力に厚くお礼申し上げます。
- 鈴木(圀)君 中央商店街でお客様と薬師温泉へ行って来ました。江戸時代へタイムスリップして楽しい時間を過ごしてきました。
- 坂本君 吉井年度もいよいよ最後の例会ですねー！大変ご苦労様でした。
- 蕪澤君 巻RC20周年記念式典に参加して参りました。BOXに協力
- 星野君 昨日の巻ロータリークラブ20周年記念式典ではお世話になりました。
- 佐藤(栄)君 雨 雨 降れ 降れ 梅雨らしく
- 坪井君 暑くなりました。BOXに協力
- 大原君、嘉瀬君、佐藤(嘉)君、田代君、馬場(一)君、平松君
BOXに協力致します。

「2009～2010年度委員会事業計画」

□社会奉仕委員会 星野健司委員長

2560 地区の社会奉仕委員会では、ロータリークラブは、地元地域社会に立脚して組織されている以上地域社会を重視するのは当然のことであり、ロータリーの社会奉仕活動は、それぞれの地域社会のどこに、どのような奉仕が必要かを調べ、クラブ単位で行うのが本来の姿であるとし、

1. 地域に根ざした社会奉仕の推進
2. 「防災のセミナー」の開催と貸し赤塚寧「災害時における情報システム」の紹介
3. 拉致被害者救出への意志表明と「ブルーリボンバッジ運動」の展開

を地区方針に掲げておられます。

この地区委員会方針、また、植木ガバナーの示された「ロータリー発足時の心と原点に立ち返り『思いやりの心で友情を深める』」を基本に、地域のニーズを探り、地域に根ざした具体的な奉仕活動を行いつつ、クラブ会員の友情を深めたいと、次の3事業項目を提案し、委員会事業を展開してゆきたいと考えております。

- ① 三条南クラブの「奉仕プロジェクトチーム」での長期計画に沿った新たな奉仕活動の実践
- ② 地域の社会奉仕団体と協力して奉仕活動を行う
- ③ 地区の社会奉仕委員会への活動協力

□職業奉仕委員会 銅冶康之委員長

【委員会の目的】

職業奉仕は、職業を通じて地域社会に奉仕するというロータリー活動の原点である。

クラブ会員が、「四つのテスト」を実践するために自らの事業や職業を通じて技術の研鑽、向上、さらには、それを広く世間に広め、地域社会のリーダーとして社会にアピールしてゆくことを目的とする。

【委員会の事業項目】

- ① 「職業奉仕月間」に職場例会として、会員の職場を訪問し、卓話をしてもらう
- ② 第一例会における「ロータリーの綱領」の唱和
- ③ 「ロータリーとは」、「四つのテスト」の推進活動

□親睦・プログラム・ニコニコボックス委員会

松崎孝史委員長

【委員会の目的】

親睦・・・会員を積極的に活動させ、クラブ活動やプロジェクトに対する協力を育む要因となる活動をする

プログラム・・・クラブや地域社会・世界での奉仕活動への参加を促し、熱意を高めるのに必要な情報や動機をクラブ会員に与える例会プログラムを計画する

ニコニコボックス・・・会員の心温まる善意により資金の貯蓄を図り、クラブ奉仕、社会奉仕に役立てることを目的とする

【親睦例会】

- | | | |
|--------|----------|-------------|
| 7月23日 | ガバナー公式訪問 | (於：餞心亭 おゝ乃) |
| 8月31日 | 夏忘れ例会 | (於：千翔) |
| 12月21日 | 忘年例会 | |
| 1月25日 | 新年会 | |
| 4月12日 | 旬例会 | |
| 6月28日 | 会長・幹事慰労会 | |

【委員会の目的】

クラブ例会、諸会合の重要事項を記録し、次週例会プログラムの予告等諸情報を掲載して会員の関心を促し、出席率を高め、会員相互の親睦を深めることを目的とする。

【委員会の事業項目】

- ① 会長挨拶、幹事報告、理事会報告、ニコニコボックスの報告、卓話の掲載、会員投稿原稿を掲載し、また、会長挨拶、卓話者、奉仕活動や親睦活動のスナップ写真を掲載する
- ② クラブ会報を保存するバインダーの作成（会員全員配布）
- ③ 「ロータリーの友」の内容を紹介する
- ④ クラブ会報を全員に配布する
- ⑤ 毎週発行の週報をホームページに掲載する

ROTARY NEWS



ハイライトよねやま 112

「ハイライトよねやま」は、毎月1回発行している
ロータリー米山記念奨学会のニュースレターです。

〈財〉ロータリー米山記念奨学会
2009年6月12日発行

4. 毎月1万円寄付で累計40万円の功労者表彰 — 田鎬鎮さん —

横浜鶴峰RC（第2590地区）の例会で5月30日、米山学友の田鎬鎮（ジョンホジン）さん（韓国／1992-94年／横浜鶴峰RC）の表彰式が行われました。田さんは、米山奨学事業がかつて、「月に煙草1箱を節約して」を合い言葉に募金を推進した話に感銘を受けて以来、実際に禁煙したお金を毎月1万円、米山記念奨学会へ寄付しつづけて、今年3月には累計40万円（第4回米山功労者マルチプル）を達成しました。

表彰式では、米山奨学会の板橋敏雄理事長が祝辞を述べ、感謝状を田さんに手渡しました。同地区の清水良夫ガバナー、中山義之米山奨学会理事、鈴木憲治地区米山奨学委員長のほか、田さんの元カウンセラーや米山学友ら多数のゲストも祝福に駆けつけました。

田さんは、「親族の戦争体験から、かつての私は日本に対してわだかまりがあり、留学を終えたらすぐ帰国しようと思っていた。実際に日本で暮らし、親切で誠実な国民性に驚き、心惹かれながらも、どこか素直になれなかった。しかし、留学中の苦しい時期を支えてくれた日本人の親切さ、ロータリーの皆さんとの出会いが私を変えてくれた。私の夢である日韓両国でのビジネス展開を目標に、日本と韓国の友好のために力を尽くします」と、感謝を込めて語りました。



7月のお祝い

会員誕生

1日 長谷美津明君	7日 石山荘一君	11日 佐々木常行君
13日 坂本洋司君	29日 田代徳太郎君	

夫人誕生

18日 石山敏江（荘一）さん	23日 野水智恵子（孝男）さん
24日 住谷幸子（哲雄）さん	

* * おめでとうございます * *

